

資料編

歴代首長

年表<1972(昭和47)年~2022(令和4)年>

歴代首長

沖縄県知事<復帰後～令和4年>

歴代	官職名	氏名	在任年月日	機関
初代	沖縄県知事	屋良 朝苗	自 昭和47年5月15日 至 昭和47年6月28日	沖縄県 昭和47年 5月15日～
2代	〃	屋良 朝苗	自 昭和47年6月29日 至 昭和51年6月24日	
3代	〃	平良 幸市	自 昭和51年6月25日 至 昭和53年11月23日	
4代	〃	西銘 順治	自 昭和53年12月10日 至 昭和57年12月9日	
5代	〃	西銘 順治	自 昭和57年12月10日 至 昭和61年12月9日	
6代	〃	西銘 順治	自 昭和61年12月10日 至 平成2年12月9日	
7代	〃	大田 昌秀	自 平成2年12月10日 至 平成6年12月9日	
8代	〃	大田 昌秀	自 平成6年12月10日 至 平成10年12月9日	
9代	〃	稲嶺 恵一	自 平成10年12月10日 至 平成14年12月9日	
10代	〃	稲嶺 恵一	自 平成14年12月10日 至 平成18年12月9日	
11代	〃	仲井眞 弘多	自 平成18年12月10日 至 平成22年12月9日	
12代	〃	仲井眞 弘多	自 平成22年12月10日 至 平成26年12月9日	
13代	〃	翁長 雄志	自 平成26年12月10日 至 平成30年8月8日	
14代	〃	玉城 デニー	自 平成30年10月4日 至 令和4年9月29日	
15代	〃	玉城 デニー	自 令和4年9月30日	

【参考資料】

戦前

歴代	官職名	氏名	在任年月日	機関
初代	県令心得	木梨 精一郎	自 明治12年3月27日 至 明治12年5月19日	沖縄県 明治12年 3月27日～ 昭和20年 8月14日
2代	県令	鍋島 直彬	自 明治12年5月19日 至 明治14年5月18日	
3代	〃	上杉 茂憲	自 明治14年5月18日 至 明治16年4月22日	
4代	〃	岩村 通俊	自 明治16年4月22日 至 明治16年12月21日	
5代	〃	西村 捨三	自 明治16年12月21日 至 明治19年4月27日	
6代	知事	大迫 貞清	自 明治19年4月27日 至 明治20年4月14日	
7代	〃	福原 実	自 明治20年4月14日 至 明治21年9月18日	
8代	〃	丸岡 莞爾	自 明治21年9月18日 至 明治25年7月20日	
9代	〃	奈良原 繁	自 明治25年7月20日 至 明治41年4月6日	
10代	〃	日比 重明	自 明治41年4月6日 至 大正2年6月1日	
11代	〃	高橋 琢也	自 大正2年6月1日 至 大正3年6月9日	
12代	〃	大味 久五郎	自 大正3年6月9日 至 大正5年4月28日	
13代	〃	小田切 馨太郎	自 大正5年4月28日 至 大正5年5月4日	
14代	〃	鈴木 邦義	自 大正5年5月4日 至 大正8年4月18日	
15代	〃	川越 壮介	自 大正8年4月18日 至 大正10年5月27日	
16代	〃	和田 潤	自 大正10年5月27日 至 大正12年10月25日	
17代	〃	岩元 禧	自 大正12年10月25日 至 大正13年6月24日	
18代	〃	亀井 光政	自 大正13年6月24日 至 大正15年9月28日	
19代	〃	今宿 次雄	自 大正15年9月28日 至 昭和2年5月7日	

歴代	官職名	氏名	在任年月日	機関
20代	知事	飯尾 藤次郎	自 昭和2年5月7日 至 昭和3年12月26日	沖縄県 明治12年 3月27日～ 昭和20年 8月14日
21代	〃	細川 長平	自 昭和3年12月26日 至 昭和4年7月5日	
22代	〃	守屋 磨瑳夫	自 昭和4年7月5日 至 昭和5年8月26日	
23代	〃	井野 次郎	自 昭和5年8月26日 至 昭和10年6月28日	
24代	〃	蔵重 久	自 昭和10年6月28日 至 昭和13年6月24日	
25代	〃	淵上 房太郎	自 昭和13年6月24日 至 昭和16年1月7日	
26代	〃	早川 元	自 昭和16年1月7日 至 昭和18年7月1日	
27代	〃	泉 守紀	自 昭和18年7月1日 至 昭和20年1月12日	
28代	〃	島田 勲	自 昭和20年1月12日 至 昭和20年6月	

戦後

歴代	官職名	氏名	在任年月日	機関
	沖縄諮詢会 委員長	志喜屋 孝信	自 昭和20年8月29日 至 昭和21年4月20日	沖縄諮詢会 昭和20年8月15日 ～昭和21年4月26日
	沖縄知事	志喜屋 孝信	自 昭和21年4月24日 至 昭和25年11月3日	沖縄民政府 昭和21年4月24日 ～昭和25年11月3日
	沖縄群島 知事	平良 辰雄	自 昭和25年11月4日 至 昭和27年3月1日	沖縄群島政府 昭和25年11月4日 ～昭和27年3月31日
	宮古支庁長 〃 〃	島袋 慶輔 西原 雅一 具志堅 宗精	自 昭和20年12月8日 至 昭和21年10月1日 自 昭和21年10月1日 至 昭和22年2月2日 自 昭和22年2月2日 至 昭和22年3月21日	宮古支庁 昭和20年12月8日 ～昭和22年3月21日
	宮古知事	具志堅 宗精	自 昭和22年3月21日 至 昭和25年11月17日	宮古民政府 昭和22年3月21日 ～昭和25年11月7日
	宮古群島 知事	西原 雅一	自 昭和25年11月18日 至 昭和27年3月11日	宮古群島政府 昭和25年11月18日 ～昭和27年3月31日
	八重山支庁長 〃	宮良 長詳 吉野 高善	自 昭和20年12月28日 至 昭和21年10月21日 自 昭和21年10月21日 至 昭和22年3月21日	八重山支庁 昭和20年12月28日 ～昭和22年3月31日
	八重山知事	吉野 高善	自 昭和22年3月21日 至 昭和25年11月6日	八重山民政府 昭和22年3月21日 ～昭和25年11月6日
	八重山群島 知事	安里 積千代	自 昭和25年11月7日 至 昭和27年3月2日	八重山群島政府 昭和25年11月7日 ～昭和27年3月31日
	大島支庁長	豊島 至	自 昭和21年3月30日 至 昭和21年10月3日	大島支庁 昭和21年3月16日 ～昭和21年10月3日
	臨時北部 南西諸島 知事 〃 〃	豊島 至 中江 実孝 吉田 嘉	自 昭和21年10月3日 至 昭和22年9月20日 自 昭和22年9月26日 至 昭和25年9月27日 自 昭和25年9月27日 至 昭和25年11月24日	臨時北部南西 諸島政庁 昭和21年10月3日 ～昭和25年11月24日
	奄美群島 知事	中江 実孝	自 昭和25年11月25日 至 昭和27年3月6日	奄美群島政府 昭和25年11月25日 ～昭和27年3月31日
	臨時琉球 諮詢委員会 委員長	比嘉 秀平	自 昭和25年6月5日 至 昭和26年3月31日	臨時琉球諮詢委員会 昭和25年6月15日 ～昭和26年3月31日
	琉球臨時 中央政府 行政主席	比嘉 秀平	自 昭和26年4月1日 至 昭和27年3月31日	琉球臨時中央政府 昭和26年4月1日 ～昭和27年3月31日
初代	琉球政府 行政主席	比嘉 秀平	自 昭和27年4月1日 至 昭和31年10月25日	琉球政府 昭和27年4月1日 ～昭和47年5月14日
2代	〃	当間 重剛	自 昭和31年11月12日 至 昭和34年11月11日	
3代	〃	大田 政作	自 昭和34年11月11日 至 昭和39年10月30日	
4代	〃	松岡 政保	自 昭和39年10月30日 至 昭和43年11月30日	
5代	〃	屋良 朝苗	自 昭和43年12月1日 至 昭和47年5月14日	

年表<1972(昭和47)年～2022(令和4)年>

1972

(昭和47年)

- 1月 7日 「佐藤・ニクソン会議」で沖縄の施政権を“5月15日”に返還するなどを中心とした共同発表
- 1月20日 東峰夫氏の「オキナワの少年」が芥川賞に決定
- 2月29日 ニクソン大統領が沖縄返還協定に署名
- 4月28日 「完全復帰を要請する4.28県民総決起大会」が開かれる
- 5月12日 米民政府は解散式を行い、5月15日をもって琉球及び大東諸島の施政権を日本に返還する旨、公式に国連に通告
- 5月13日 琉球政府閉庁式
- 5月15日 午前0時、沖縄が本土復帰して「沖縄県」誕生
政府主催「沖縄復帰記念式典」が東京の日本武道館と那覇市民会館で同時開催
午後からは沖縄県主催「新沖縄県発足式典」が那覇市民会館で行われる
沖縄県は、県庁の表札の除幕式と開庁式を開催
第1回沖縄県議会（臨時）が、午前6時15分から開会
ドルから円への通貨切り替え開始（5月20日まで）
沖縄開発庁発足、出先機関として沖縄総合事務局設置
- 6月 8日 那覇防衛施設局開設
- 6月25日 戦後初めての県知事選挙で屋良朝苗氏当選
- 6月30日 屋良知事就任
- 9月 6日 那覇空港開港記念式典（民間空港として発足）
- 9月30日 自衛隊、沖縄に本格的に移駐
- 10月 1日 本土～沖縄間電話の即時ダイヤル市外電話開始
- 11月26日 復帰記念植樹祭を糸満市摩文仁で開催
- 12月18日 政府が沖縄振興開発計画を決定

1973

(昭和48年)

- 5月 3日 沖縄特別国体「若夏国体」開幕（5月6日まで）
- 9月22日 県は、県内18市村から提出された米軍提供施設の返還要求リストを本土政府に送る

1974

(昭和49年)

- 3月 2日 那覇市小祿の下水道工事現場で不発弾爆発事故発生
- 4月 1日 沖縄市誕生（コザ市と美里村が合併）
- 8月 1日 首里～那覇間にバス専用レーンが開設

1975

(昭和50年)

- 1月18日 知事、ハワイ移住 75周年記念式典に出席
- 4月 4日 選抜高等学校野球大会で豊見城高校がベスト8進出
- 4月20日 本部大橋開通式
- 5月20日 沖縄自動車道（許田～石川）開通式
- 6月11日 県立平和祈念資料館が開館
- 7月17日 「沖縄国際海洋博覧会」開会式御臨席のため、皇太子同妃両殿下下行啓（7月19日まで）
- 7月20日 「沖縄国際海洋博覧会」開幕（1976年（昭和51年）1月18日まで）

1976

(昭和51年)

- 1月17日 「沖縄国際海洋博覧会」閉会式御臨席のため、皇太子同妃両殿下下行啓（1月18日まで）
- 2月 7日 沖縄電力は、県内配電5社（沖縄・中央・松岡・比謝川・名護）との合併を決定
- 6月13日 復帰後2度目の県知事選挙で平良幸市氏当選（6月25日就任）
- 10月10日 具志堅用高選手がグスマン選手を破り、WBA世界ジュニアフライ級チャンピオンとなる
- 12月22日 宮古、八重山とのダイヤル電話開通、NHKテレビも同時放送される

1977

(昭和52年)

- 4月 8日 沖縄県軍用地転用促進協議会設置
- 8月10日 暴力団対立抗争警戒中の警察官が、暴力団員の発砲により重傷を負う
- 11月18日 県の第1回沖縄の産業まつり開催

1978

(昭和53年)

- 3月12日 第1回「沖縄県功労賞」表彰式
- 7月30日 午前6時、県下一斉に交通方法の変更を実施
- 10月 1日 沖縄平和祈念堂開堂式
- 12月10日 県知事選挙で西銘順治氏当選（12月10日就任）

1979

(昭和54年)

- 7月 3日 政府は、米軍の夜間行軍は日米地位協定違反であると公式見解を発表
- 7月 5日 下地島空港供用開始
- 7月19日 県、米軍、那覇防衛施設局による基地問題連絡協議会（三者協）発足
- 8月 4日 知事、ペルー日本移住80周年記念式典及び
ポリビア移住25周年記念式典等出席のため南米へ出発
- 10月 1日 琉球大学医学部開設
- 12月25日 沖縄県観光振興条例を公布

1980

(昭和55年)

- 1月 5日 平和をつくる沖縄百人委員会が結成される
- 2月28日 県観光のイメージアップを図るため「おきなわウエア」を発表
- 4月 3日 知事、経済文化交流のため台湾を公式訪問
- 10月12日 具志堅用高選手、13度目の世界王座防衛に成功し、
日本人男子世界王者の最多防衛記録達成
- 10月29日 米海兵隊駐屯地キャンプ・ハンセンで山林火災発生、40日間も燃え続ける

1981

(昭和56年)

- 6月 3日 知事は、沖縄開発庁長官に「沖縄振興開発特別措置法の10年延長と高率補助の継続」を要請
- 12月 キャンプ瑞慶覧・ハンビー飛行場部分全面返還

1982

(昭和57年)

- 1月12日 国は沖縄県の税制関係復帰特別措置の延長決定
- 3月31日 沖縄振興開発特別措置法の改正延長、沖縄復帰特別措置法の延長決定
- 5月15日 復帰10周年記念式典
- 6月27日 復帰10周年記念植樹祭

年表<1972(昭和47)年~2022(令和4)年>

1983

(昭和58年)

- 8月 5日 政府が第2次沖縄振興開発計画を決定
- 11月14日 県知事選挙で西銘順治氏が再選(12月10日就任)
- 3月18日 宜名真トンネル開通
- 7月12日 第19回献血運動推進全国大会御臨席のため皇太子同妃両殿下行啓(7月13日まで)
- 10月26日 安波ダム、普久川ダムの完工式典

1984

(昭和59年)

- 1月26日 県畜産試験場落成
- 3月31日 県中央卸売市場開場式典
- 10月 9日 琉大医学部施設竣工並びに附属病院開院記念式
- 10月29日 宮古群島のミカンコミバエ根絶宣言

1985

(昭和60年)

- 1月26日 入域観光客200万人突破発表
- 2月13日 瀬底大橋開通
- 4月 1日 本県初の海水淡水化水道事業、北大東村で開始
- 4月13日 本県初の人間国宝に金城次郎氏
- 4月17日 沖縄国際センター(JICA沖縄)開所式
- 4月28日 第1回全日本トライアスロン宮古島大会
- 6月14日 ハワイ州(アメリカ)姉妹提携調印式
- 12月 8日 第1回NAHAマラソン

1986

(昭和61年)

- 2月20日 八重山群島ミカンコミバエ根絶記念式典
- 4月 1日 県立芸術大学開学
- 4月11日 泊大橋開通
- 4月22日 南マットグロッソ州(ブラジル)姉妹提携調印式
- 4月25日 県民の森開園式
- 11月16日 県知事選挙で西銘順治氏が三選(12月10日就任)

1987

(昭和62年)

- 3月25日 於茂登トンネル開通
- 5月 2日 県総合運動公園開園
- 5月31日 米軍施設・牧港住宅地区(現・那覇新都心)が全面返還
- 7月25日 宜野湾港マリーナ開港式
- 9月 3日 沖縄コンベンションセンター落成式
- 9月19日 徳仁親王殿下行啓(9月22日まで)
- 9月20日 第42回国民体育大会「海邦国体」夏季大会開幕(9月23日まで)
- 10月 8日 沖縄自動車道(石川~那覇)開通
- 10月24日 皇太子同妃両殿下行啓(10月25日まで)
- 10月25日 「海邦国体」秋季大会開幕(10月30日まで)
- 11月12日 皇太子同妃両殿下行啓(11月15日まで)
- 11月14日 第23回全国身体障害者スポーツ大会「かりゆし大会」開幕(11月15日まで)

1988

(昭和63年)

- 11月27日 宮古群島ウリミバエの根絶宣言
- 7月 1日 自由貿易地域那覇地区供用開始
- 9月17日 県人ブラジル移民80周年

1989

(昭和64年・平成元年)

- 1月 8日 平成元年始まる
- 6月23日 ひめゆり平和祈念資料館開館
- 7月22日 「宮古~東京」直行便運航
- 11月26日 第1回ツール・ド・おきなわ

1990

(平成2年)

- 1月26日 県庁舎(行政棟)落成式
- 2月 1日 本県初の美術館「浦添美術館」開館
- 8月23日 第1回世界のウチナーンチュ大会開催(8月26日まで)
- 10月27日 県立郷土劇場落成記念式典
- 11月18日 県知事選挙で大田昌秀氏が当選(12月10日就任)

1991

(平成3年)

- 4月 4日 県立沖縄看護学校開校式・入学式
- 8月20日 尚弘子氏が副知事に就任、本県初の女性副知事
- 11月 5日 沖縄開発庁長官に伊江朝雄参議院議員が就任、本県出身者初の国務大臣

1992

(平成4年)

- 2月14日 池間大橋開通
- 5月15日 復帰20周年記念式典
- 7月30日 県庁舎(議会棟)落成式
- 9月28日 政府が第3次沖縄振興開発計画を決定
- 11月 3日 首里城公園(国営沖縄記念公園 首里城地区)の一般公開開始
- 11月18日 サンタクルス州(ボリビア)と姉妹提携調印式

1993

(平成5年)

- 1月10日 NHK大河ドラマ「琉球の風」放送開始
- 4月23日 天皇皇后両陛下下行幸啓(4月26日まで)両陛下初の御来県
- 4月25日 第44回全国植樹祭
- 10月30日 全県でウリミバエ根絶達成
- 11月18日 沖縄県警察棟落成式
- 11月24日 とよみ大橋開通
- 12月16日 先島で民間TV放送開始

1994

(平成6年)

- 3月 1日 銀座わしたショップオープン
- 4月 1日 名桜大学開学
- 10月20日 赤土等流出防止条例公布
- 11月20日 県知事選挙で大田昌秀氏が再選(12月10日就任)

年表<1972(昭和47)年～2022(令和4)年>

1995

(平成7年)

- 3月13日 来間大橋開通
- 4月 1日 行政オンブズマン制度発足
- 6月23日 「平和の礎」完成除幕式
- 8月 1日 県公文書館開館
- 8月 2日 戦後50周年「慰霊の旅」のため天皇皇后両陛下下行幸啓
- 9月28日 知事が国の米軍用地強制使用手続き代理署名を拒否
- 10月21日 少女暴行事件糾弾、日米地位協定見直し要求の県民総決起大会

1996

(平成8年)

- 1月11日 又吉栄喜氏の「豚の報い」が芥川賞に決定
- 7月27日 沖縄県女性総合センター(ているる)開館記念式典
- 9月 8日 日米地位協定見直し及び基地の整理縮小を問う県民投票実施
- 12月 2日 日米特別行動委員会(SACO)の最終報告、普天間基地など11施設の返還承認

1997

(平成9年)

- 7月15日 皇太子同妃両陛下下行啓(7月17日まで)
- 7月16日 第9回全国農業青年交換大会
- 7月17日 目取真俊氏の「水滴」が芥川賞に決定、本県出身者が2年連続受賞決定
- 7月31日 県立武道館(アリーナ棟)落成
- 8月21日 沖縄空手・古武道世界大会開催(8月24日まで)
- 9月 4日 福建省(中国)友好県省締結調印式
- 11月21日 復帰25周年記念式典

1998

(平成10年)

- 2月 6日 知事が名護市の住民投票結果、環境問題などを理由に普天間飛行場代替の海上基地建設に反対表明
- 11月15日 県知事選挙で稲嶺恵一氏が当選(12月10日就任)

1999

(平成11年)

- 4月 4日 選抜高等学校野球大会で沖縄尚学高校が県勢初優勝、沖縄尚学高校野球部は初の沖縄県県民栄誉賞を受賞(4月19日)
- 4月29日 2000年九州・沖縄サミット首脳会合の主要国首脳会議の会場が沖縄県に決定
- 5月26日 那覇空港新国内線旅客ターミナルビル供用開始
- 6月 3日 知事、日本人ボリビア移住100周年記念式典に出席

2000

(平成12年)

- 1月 7日 沖縄県人ハワイ移住100周年記念式典
- 4月 1日 沖縄県平和祈念資料館開館(移転改築)
- 4月19日 公立久米島病院開院式典
- 4月26日 県は新石垣空港の建設位置をカラ岳陸上とする方針を正式に決定
- 6月 2日 沖縄県海洋深層水研究所開所式典
- 7月21日 九州・沖縄サミット首脳会合開催(7月23日まで)
- 9月 2日 沖縄県人カナダ移住100周年記念式典
- 12月 2日 「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録

2001

(平成13年)

- 4月 2日 NHK連続テレビ小説「ちゅらさん」放送開始
- 4月21日 皇太子殿下下行啓(4月23日まで)
- 4月22日 「みどりの愛護のつどい」を国営沖縄記念公園で開催
- 4月25日 沖縄産業支援センター落成

2002

(平成14年)

- 4月 2日 久米島町誕生(具志川村、仲里村が合併)
- 5月19日 復帰30周年記念式典
- 7月10日 政府が沖縄振興計画(第4次振計相当)を決定
- 11月 1日 沖縄美ら海水族館開館
- 11月17日 県知事選挙で稲嶺恵一氏が再選(12月10日就任)

2003

(平成15年)

- 4月26日 那覇空港自動車道(南風原南～豊見城)開通
- 8月10日 沖縄都市モノレール「ゆいレール」(那覇空港駅～首里駅)開業
- 10月 7日 宮里藍選手がプロ宣言し、史上初の高校生プロゴルファーとなる

2004

(平成16年)

- 1月18日 国立劇場おきなわ開場記念式典
- 1月23日 天皇皇后両陛下下行幸啓(1月26日まで)初めて離島(宮古島・石垣島)を御訪問
- 3月10日 美ら島沖縄大使に77名を任命
- 4月10日 国立沖縄工業高等専門学校第1回入学式
- 8月13日 米軍の大型輸送ヘリコプターCH-53Dが沖縄国際大学構内に墜落
- 8月22日 対馬丸記念館開館

2005

(平成17年)

- 2月 8日 古宇利大橋開通
- 4月 1日 うるま市誕生(具志川市、石川市、勝連町、与那城町が合併)
- 4月 8日 皇太子殿下下行啓(4月10日まで)
- 4月10日 「第46回米州開発銀行(IDB)・第20回米州投資公社(IIC)年次総会」が沖縄コンベンションセンターで開催(4月12日まで)
- 10月 1日 宮古島市誕生(平良市、城辺町、下地町、上野村、伊良部町が合併)

2006

(平成18年)

- 1月 1日 南城市誕生(佐敷町、知念村、玉城村、大里村が合併)
- 八重瀬町誕生(東風平町、具志頭村が合併)
- 3月16日 県立南部医療センター・こども医療センター開院記念式典
- 9月18日 「しまくとぅばの日」制定記念式典
- 11月19日 県知事選挙で仲井眞弘多氏が当選(12月10日就任)

2007

(平成19年)

- 11月 1日 県立博物館・美術館開館

2008

(平成20年)

- 4月 4日 選抜高等学校野球大会で沖縄尚学高校が9年ぶり2度目の優勝
- 10月23日 北京パラリンピック「陸上男子マラソン(車いすT52)」で銀メダルを獲得した上与那原寛和選手が沖縄県県民栄誉賞を受賞

年表<1972(昭和47)年~2022(令和4)年>

2009 (平成21年)

- 5月17日 プロバスケットボールbjリーグの琉球ゴールデンキングスが初優勝
- 9月 2日 「琉球舞踊」が国の重要無形文化財に指定

2010 (平成22年)

- 3月 沖縄21世紀ビジョン策定
- 7月27日 皇太子殿下下行程(7月29日まで)
- 7月28日 平成22年度全国高等学校総合体育大会「美ら島沖縄総体2010」開幕(8月20日まで)
- 8月21日 全国高等学校野球選手権大会で興南高校が県勢初優勝、同年の選抜高等学校野球大会も優勝し(4月3日)、甲子園春夏連覇を達成した興南高校野球部は沖縄県県民栄誉賞を受賞(9月13日)
- 11月16日 「組踊」がユネスコ無形文化遺産に記載
- 11月28日 県知事選挙で仲井眞弘多氏が再選(12月10日就任)
- 12月27日 米女子プロゴルフツアーで日本人最多勝となる5勝を挙げた宮里藍選手が沖縄県県民栄誉賞を受賞

2011 (平成23年)

- 3月11日 東日本大震災発生
- 8月28日 那覇うみそらトンネル開通
- 11月 1日 沖縄科学技術大学院大学(OIST)設立

2012 (平成24年)

- 5月15日 復帰40周年記念式典
県が「沖縄21世紀ビジョン基本計画」(第5次振計相当)を決定
- 10月 1日 垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが普天間飛行場に配備
- 11月17日 天皇皇后両陛下下行程(11月20日まで)
第32回全国豊かな海づくり大会開催(11月18日まで)

2013 (平成25年)

- 3月 2日 新石垣空港「南ぬ島(ばいぬしま)石垣空港」開港記念式典(3月7日開港)
- 4月 1日 那覇市が中核市へ移行

2014 (平成26年)

- 4月 1日 那覇クルーズターミナル供用開始
- 6月26日 対馬丸犠牲者の慰霊のため天皇皇后両陛下下行程(6月27日まで)
- 11月16日 県知事選挙で翁長雄志氏が当選(12月10日就任)

2015 (平成27年)

- 1月31日 伊良部大橋開通
- 3月31日 キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)返還
- 4月25日 キャンプ瑞慶覧(泡瀬ゴルフ場跡)の返還地に大型ショッピングモールが開業

2016 (平成28年)

- 6月17日 「沖縄子どもの未来県民会議」設立
- 10月30日 県が「第6回世界のウチナーンチュ大会」において10月30日を「世界のウチナーンチュの日」と制定
- 11月22日 リオデジャネイロパラリンピック「ウィルチェアラグビー」で銅メダルを獲得した仲里進選手が沖縄県県民栄誉賞を受賞

- 12月13日 米軍のMV-22オスプレイが名護市沿岸に墜落
- 12月22日 米軍北部訓練場の過半数約4,000ヘクタールが返還

2017 (平成29年)

- 3月 4日 沖縄空手会館開館
- 12月13日 普天間第二小学校校庭に米軍の大型輸送ヘリコプターCH-53Eの窓が落下

2018 (平成30年)

- 3月27日 地方事情御視察のため天皇皇后両陛下下行程(3月29日まで)
- 5月23日 歌手として25年間活躍した安室奈美恵さんが沖縄県県民栄誉賞を受賞
- 8月 8日 翁長雄志沖縄県知事が死去
- 9月30日 県知事選挙で玉城デニー氏が当選(10月4日就任)
- 12月25日 「玉陵(たまうどろん)」が県内の建造物として初めて国宝に指定

2019 (平成31・ 令和元年)

- 2月24日 辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票を実施
- 10月 1日 沖縄都市モノレールの浦添延長区間が開業
- 10月31日 首里城正殿から発生した火災により正殿等9つの主要施設が焼失

2020 (令和2年)

- 1月 8日 県内で33年ぶりに豚熱(CSF)の感染を確認
- 1月23日 令和元年(暦年)の入域観光客数が過去最高の1,016万3,900人を記録
- 2月14日 県内で初めてとなる新型コロナウイルス感染者を確認
- 3月26日 那覇空港第2滑走路の供用開始

2021 (令和3年)

- 3月28日 沖縄アリーナ落成記念式典
- 7月26日 沖縄島北部及び西表島が奄美大島、徳之島(鹿児島県)とともに世界自然遺産に登録
- 8月27日 東京オリンピックでメダルを獲得した喜友名諒選手(「空手男子・型」金メダル)、屋比久翔平選手(「レスリング・グレコローマンスタイル77キロ級」銅メダル)、平良海馬選手(「野球」金メダル)が沖縄県県民栄誉賞を受賞することを発表
- 9月 8日 東京パラリンピック「陸上男子車いすT52・400m及び1,500m」で銅メダルを獲得した上与那原寛和選手が沖縄県県民栄誉賞を受賞することを発表
- 10月 8日 県内各地で海底火山噴火に由来するとみられる大量の軽石の漂着・漂流を確認

2022 (令和4年)

- 3月29日 おきなわ工芸の杜開館記念式典
- 5月15日 政府・沖縄県共催の復帰50周年記念式典が東京と沖縄の2会場で同時開催
県が「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」(第6次振計相当)を決定
- 10月22日 天皇皇后両陛下下行程(10月23日まで)
第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭「美ら島おきなわ文化祭2022」開催(11月27日まで)

協力者一覧 (写真提供、五十音順、敬称略)

泡瀬復興期成会	対馬丸記念館
石垣市教育委員会	豊見城市教育委員会
糸満市教育委員会	内閣府
浦添市立図書館	那覇市歴史博物館
大城弘明	西原町教育委員会
沖縄科学技術大学院大学 (OIST)	南風原町教育委員会
沖縄観光コンベンションビューロー	平安座自治会
沖縄コンベンションセンター	宮古空港ターミナル株式会社
恩納村博物館	村山望
北中城村教育委員会	公立大学法人 名桜大学
宜野湾市立博物館	与那原町教育委員会
共同通信社	読谷村
北谷町公文書館	琉球新報

編集後記

本書は、沖縄の復帰50周年を記念して発行いたしました。企画・編集にあたり、手に取っていただきやすい記念誌となるよう、復帰前後と現在の沖縄各地を写真で比べてその変化を見る「タイムトラベル編」、復帰から現在までの50年の沖縄の出来事等を写真で順に振り返る「プレイバック編」を中心に、写真集、グラフ誌的な構成としました。多くの皆様に手に取っていただき、沖縄のこれまでとこれからに思いを寄せていただければ幸いです。

最後に、本書の作成にあたり、スペシャルコラム「私たちの半世紀、これからの沖縄」に寄稿いただいた、稲嶺恵一様、川平朝清様、具志堅用高様、仲田幸子様（五十音順）をはじめ、写真の提供等、多大な御協力をいただいた皆様（別記）に、この場を借りて御礼申し上げます。



復帰50年のあゆみ

2023年3月発行

編集・発行 沖縄県知事公室広報課
沖縄県那覇市泉崎1-2-2

編集協力・
制作・印刷 丸正印刷株式会社
沖縄県西原町字小那覇1215

新星出版株式会社
沖縄県那覇市港町2-16-1
